

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		交際事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名	建岡 純雄
	施策	24	行財政改革の推進			所属課	市長公室	担当者名	後藤 圭子
	基本事業	83	計画的な施策・事業の推進			所属班	秘書人事班	(内線)	1222
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果		
	1	2	1	1	11024		コスト削減優先度評価結果		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	市政の円滑な運営のため、市長が市を代表して、地域の行事や各種団体の会議などに参加をし、地域住民との交流を行う。また、必要に応じて社会通念上必要と思われる範囲内で、慶祝・弔慰・災害見舞い・行事出席の会費などを支払う。以前から地域住民や各種団体との友好を図るために行っていた。交際費の支出が縮小傾向にある。
【業務の流れ】	①各種団体等からの案内状対応、電報の発信、慶弔確認などを行う。 ②必要に応じて、各種大会等の祝金、意見交換のための懇談会費、会議等の会費、災害見舞金などを社会通念上必要と思われる範囲内で支払う。
【主な予算費目】	【款】2総務費 【項】1総務管理費 【目】1一般管理費 【節】10交際費・11消耗品費・12役務費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	住民からの交際費の情報公開は必要不可欠であり、適正な支出が求められる。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	⇒ ア 祝い金・災害見舞金等の支出件数 件	イ (単位)
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	交際団体	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ⇒ ア 市に参加を要請された件数 件 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	各団体等との交流を図ることにより市政への意見を聞くことができ、市が活性化する。	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ⇒ ア 目的どおり支出された割合 % イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠		

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア 件	件		132	130	130	130	130	
⑤ 対象指標	ア 件	件	300	370	370	370	370	370	
⑥ 成果指標	ア %	%	100	100	100	100	100	100	
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	961	3,743	1,490	1,277	1,490	1,490
	(A) 事業費計	千円	961	3,743	1,490	1,277	1,490	1,490	0
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人 件 費	正規職員従事人数	人	3	5	3	4	3	3	
	延べ業務時間	時間	116	436	110	297	110	110	
	(B)人件費計	千円	461	1,744	438	1,182	438	438	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,422	5,487	1,928	2,459	1,928	1,928	0	

総トータルコスト 全体計画 ～ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	0
	0
	0

事務事業名	交際事業	所属部	総務企画部	所属課	市長公室
-------	------	-----	-------	-----	------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 数多くの案内等に対し、できる限り出席するようにしている。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 実費相当額のみである。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 地域や各種団体からの案内に対しては公平公正に出席ないし支出をしている。また、金額についても基準を設けており、公平公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

現在の交際費の支出は実費相当分の支出であり、削減する基準や項目などその判断がむずかしいところではある。